

10月2日(月)

良き手本を見つけること

聖書朗読 ホセア 8:1~7

わたしが彼のために、多くのおしえを書いても、彼らはこれを他国人のもののようにみなす。 ホセア 8:12

偽善とは、自分が本当は持っていない感情や美德を持つようなふりをする事です。発言内容と行いが合っていない人は偽善者だと考える人もいます。「私がしているようにではなく、私が言った通りにしなさい」と誰かに言われたら、違和感を感じるものです。

ホセアはイスラエル人が偽善という問題を抱えていることを明確に述べています。イスラエル人は神様を求め続け、仕えると言いつつ、それは単なる口先の言葉に過ぎませんでした。実質の無い発言です。口ではそんなことを言いつつ、行動は全く伴っていなかったのです。彼らは神様を賛美しつつも、同時に墮落し罪深い生活を送っていました。偶像を礼拝するリーダーを選び、御言葉を拒否しました。イスラエル人の気持ちは完全に神様から離れていました。

私たちが賛美する時、私たちの心と気持ちはどこにあるのでしょうか？ どこか遠くにあり、他のことに集中していませんか？ 私たちがきちんと謙虚に御言葉に気持ちを向けるなら、御言葉は私たちの心にしっかりと根を下ろします。御言葉は私たちが簡単には忘れることが出来ないものとなります。そして、私たちが愛ある態度や行動を日々の生活の中で実践していく時こそ、御言葉は私たちにとってより豊かな意味を持つようになります。こうして私たちの周りの人々も、私たちの歩みを見ることを通して御言葉の素晴らしさに気付くのです。このように御言葉を実践していく時、私たちは（偽善ではなく）真に誠実であると言えるのではないのでしょうか。

気をつけなさい！ 何かになるために求めてはいけません！
無になり、イエス様だけを求める心を持ちましょう

————— ジョン・ウェスレー

讃美歌 187

祈り 天なる父よ。日々の生活に邪魔され、御言葉に集中できない時があることをお赦し下さい。イエス様に目を向けられるようお導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

クリスティーン・アダムス
ニューメキシコ州 ホップズ

今日の力

2017年10月2日～10月8日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月3日(火)

御心にお任せする

聖書朗読 オバデヤ 1:1～4

どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。

エペソ 3:20～21

私たちは皆、神様の子どもです。なのに、神様が全てをコントロールされていることを忘れ「私がやるよ！」と言うことはありませんか？ まるで自分には全ての権限があるよう錯覚してしまうことはありませんか？

オバデヤ書ではエドム人について書かれています。彼らは神様の助けは必要ないと思っていました。彼らの家は高い崖の上にありますから、誰も彼らを襲うことなど出来ないと考えたのです。エドム人は神様に「自分のことは自分で守る！」と言い放ったのです。

エドム人の家のように、私の霊的な家も堅い岩の上に建ち、高い所にあるので問題は無いと思ってしまう時があります。私はこれまで熱心に教会に通ってきました。敬虔な兄弟と姉妹と共に信仰生活を送っています。だから、私は全てを上手くやっていて、今神様の助けはそれほど必要としていない、と錯覚しがちです。「神様、私一人で出来ますので、大丈夫です」と考えてしまうのです。

しかし、そのような高ぶった考えは幻想だということに気付く時がいずれやって来ます。そして、ひざまずき「神様、自分ではどうする事も出来ません」と告白せざるを得ない時が来るのです。

しかし、高慢でわがままな自分が砕かれた時こそ、『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。』(Ⅱコリント 12:9a)との御言葉に素直に耳を傾けることが出来るのです。「千歳の岩」であり全世界の創造主なるに神にお出来にならないことは一つとしてありません。全てを御手に委ねましょう。

讃美歌 484

祈り 万能なる神様。あなただけが賛美に値する方です。御名を賛美します。全てがあなたの御手の中にあることに感謝します。

イエス様の御名を通して祈りいたします。アーメン。

ローラ・メッズ

テネシー州 メンフィス

10月4日(水)

全ての人に開かれた神の恵み

聖書朗読 ヨナ 1章

私たちの主の、この恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに、ますます満ちあふれるようになりました。 I テモテ 1:14

「走れヨナ、走れ」。まるで政治のスローガンのようですが、これはヨナの生涯をよく言い現しています。ヨナは神様から逃げようと思いました。しかし、どれだけ遠くへ、どれだけ早く逃げようとも神様から逃げることは出来なかったのです。神様はヨナがタルシシュに逃げようとしていることに気がつかれ、魚を用意し、ヨナを飲み込ませました。預言者から、魚の餌となったヨナ。何と言う変化でしょうか。しかし、私たちの神様はセカンドチャンスを与えて下さる方です。3章1節で『再びヨナに次のような主のことばがあった』と明記されています。

ヨナは身を持って学び、遂に神様に従いニネベの人々に説教しました。ヨナは神様のご性質を知っていました。4章2節の後半で『私は、あなたが情け深くあわれみ深い神であり、怒るのにおそく、恵み豊かであり、わざわざを思い直されることを知っていたからです。』と細かく描写しています。そしてついに、ヨナはこうした神様のご性質をヨナ自身の奉仕を通して証しする決心をしたのです。

ヨナ書を読んで、私は次のことを学びました。それは、私たちが神様の御心に反抗するならば物事は決してうまくいかない、ということです。私たちは時間をかけて自らの思いや行動を今一度吟味してみる必要があるのではないのでしょうか。そして、神様の御心という観点から、自分の思いや行動に改めるべき点があることに気付いたら、勇気をもって改める必要があるのです。

慈しみ深い神様の御名を賛美します！

讃美歌 312

祈り お父様。いつも恵みを与えて下さりありがとうございます。この地上世界で、あなたの恵みを宣べ伝える者となれるようお導き下さい。

イエス様の御名を通して祈りいたします。アーメン。

セラーズ・S・クレインジュニア

テネシー州 ハンダーソンヴィル

10月5日（木）

救われた赤ちゃん

聖書朗読 マタイ 2:13～23

女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖をもって、すべての国々の民を牧するはずである。その子は神のみもと、その御座に引き上げられた。 黙示録 12:5

悪が善に勝ることは有り得ない、との希望を私たちは本当に持つことが出来るのでしょうか。罪無き人が傷付けられた時、私たちは望みを失いかけます。

今日の聖書朗読の箇所では、自分の王権がおびやかされていると感じて恐れを抱いたヘロデ王が行ったことについて触れられています。ヘロデ王は、自分の王権を守るためなら何でもやりました。実際、何人かいた妻のうちの一人をそして息子三人をも、自分の王権を守るために殺しています。同様に、誕生したイエス様をどこで見つけられるか明言せずに博士たちが出発してしまった時、激怒したヘロデ王は、ベツレヘムへ兵士を派遣し、二歳以下の男の赤ちゃんを全て殺そうとしました。王として誕生したイエス様を確実に殺害するためです。

しかし、イエス様は神様の介入により救われました。主の使いがヨセフに、ヘロデ王から逃げるためにエジプトへ向かうよう告げました。ヨセフは直ちに従いました。生まれたばかりのイエス様は無事守られ、神様の救いの計画も守られたのです。この話を思い起こすと、善が悪に勝るといふ希望を新たにさせられるのではないのでしょうか。神様はいつも勝利される方なのです。

讃美歌 514

祈り 救い主である神様。地上に遣わされたあなたの御子イエス様を悪の力から守って下さり、私たちの救いが御心の通りに行われたことを感謝します。
イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ロバート・P・リー

コロラド州 オーロラ

10月6日（金）

瓶に入っているコイン

聖書朗読 マタイ 6:19～24

自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。 マタイ 6:19

32年も勤めた会社に別れを告げるのは不思議な感覚でした。出張が多い仕事だったので、国内では36もの州へ行き、国外では16か国へ行きました。そんな日々も突然終わったのです。出張に伴う全ての思い出が懐かしく思い出されます。

どこへ行こうとも、私はいつもたくさんのコインを家に持ち帰りました。リビングルームに置いてある瓶に、持ち帰ったコインを貯めていました。これを繰り返しているうちに、瓶のコインはどんどん増えていきました。そして、瓶一杯まで貯まりました。しかし、そのコインは私が住むオハイオ州のお店では使えません。お金が瓶一杯入っているにも関わらず、それは外国のコインばかりなので、価値がないのです。

私たちは、人生で様々な物質的財産を手に入れます。しかし、それらの物質的財産がいくらあっても、私たちにとって本当に大切なものを得ることは出来ません。平和や喜びといった御霊の実（ガラテヤ書5:22～23 参照）には、物質的財産に付いているような値札は付いていないのです。この地上においても、御国においても、瓶に入ったコインでイエス様が与えて下さる祝福を買うことは出来ません。

讃美歌 521

祈り 神様。あなたの子どもである私たちに祝福を与えて下さりありがとうございます。物質的な祝福に感謝します。しかし、ひとり子であるイエス様を与えて下さったことは比較出来ないくらい有難いことです。私たちがどれだけ恵まれているか、気が付かせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ペート・ナッシュ

オハイオ州 ワレン

10月7日（土）

信 仰 を 分 か ち 合 う

聖書朗読 マタイ 5:13～20

あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事が出来ません。

マタイ 5:14

1800年代後半のことです。作家のマーク・トウェインは、タイプライター製造会社のレミントン社より依頼を受け、同社の製品を試用した上でぜひ宣伝して欲しいと頼まれました。トウェインはタイプライターを試用した後、レミントン社へ手紙で次のように書き送りました。「私がこのタイプライターを持っていることを公表しないで下さい。私がこのタイプライターを使って友人たちに手紙を書き送ったところ、『そのタイプライターについて教えて下さい』とか『そのタイプライターにはどんな素晴らしい点があるのか教えて下さい』といった質問攻めに遭い、私は困りました。」

私たちが大胆に、そして自ら進んで私たちの信仰について他者に分かち合えたら素晴らしいと思いませんか。また、信仰生活にどんな霊的恵みがあるのか、他者に話すことができたとしたら、それは素晴らしいことではないでしょうか？ しかし、ちょうどトウェインがタイプライターの所有について「公表したくない」と書いたように、私たちも自らの信仰について「他の人に言いたくない」と考えてしまっているかもしれません。私たちは自分たちの信仰について他者に語っているのでしょうか。私たちは生き方を通して、私たちの内に働いておられる聖霊を証しているのでしょうか。私たちはイエス様と共に歩んでいるということを他者に対し何らかの形で示そうとしているのでしょうか。それとも、私たちは信仰生活について「公表しない」ようにしていますか？

神様は、私たちが信仰について他者と分かち合おうとすると、私たちを強めて下さいます。『もしだれでも、わたしとわたしのことばを恥と思うなら、人の子も、自分と父と聖なる御使いとの栄光を帯びてくるときには、そのような人のことを恥とします。』（ルカ 9:26）と、イエス様も私たちに注意を促しておられます。今週はぜひ、私たちの信仰を他者と進んで分かち合いましょう。

讃美歌 448

祈 り ご在天の父よ。あなたのことをまだ知らない人達と分かち合えるよう勇気をお与え下さい。暗い世でもイエス様が共に居て下されば、明るくなることを思い起こさせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ジョッシュ・ボイド

インディアナ州 ラフィーエット

10月8日（日）

私たちは神によって義とされています

聖書朗読 マタイ 6:14～18

しかし主はサムエルに仰せられた。「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」
I サムエル 16:7

イエス様の時代、宗教指導者たちは「他人から聖人のように見られたい」という願望を持っていましたが、これは彼らの問題点の一つでした。イエス様もこうした指導者たちと出会われました。彼らは一体誰に好印象を与えたいと思っていたのでしょうか？ この問いは重要です。と言うのも、私たちも（神様ではなく）人からどう評価されているのかということを気にしがちだからです。そして人から認めてもらいたいという思いは、往々にして私たちを偽善へと導きます。イエス様はこうした問題点を見抜き、宗教指導者たちの断食の実践に関して、注意を与えました。

サタンは、私たちが「うわべだけの敬虔な態度」を求めるよう誘惑します。しかし大切な問いがここにあります。それは、「私たちは誰からの評価を大切にすべきなのか」という問いです。同僚（つまり人）ですか？ それとも全ての創造主であられる神様ですか？

神様は私たちの心を見られます。そう言わると少しドキッとしてしまうかもしれませんが。しかし、私たちの心を見られる神様の存在は、究極的には私たちに平安を与えられます。神様はもう既に私たちを受け入れて下さっているのです。『主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです』（ローマ 4:25）とパウロが断言しています。つまり、神様は私たちの罪を赦して下さい、私たちに對する愛を明確に示して下さいなのです。『しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。』（ローマ 5:8）。神様は、私たちをうわべだけで判断なさいません。目に見える「人」としては、私たちは皆罪人です。しかし私たちの魂は既にきよめられているのです。この救いの確かさこそ、サタンが仕掛ける「偽善」（人の目に見える部分を必要以上に大切にすること）の誘惑を退けるために必要なのです。

讃美歌 271

祈 り 神様。偽善者になってしまうことがないよう、あなたに認められればそれで十分であることを思い起こさせて下さい。日々、絶えることのない愛を与えて下さり、ありがとうございます。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

3リサ・ラングフォード

テキサス州 ラボック